



関中央ロータリークラブ

2017-2018 WEEKLY REPORT

例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018 年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018 年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1940回例会 2018年6月3日（日）集合9:00

「長良川環境保全例」 / 担当 環境保全・社会奉仕・IA委員会

前例会の記録 第1939回 2018年5月24日（木）

卓話 せき・まちづくりNPOぶうめらん

代表理事 北村 隆幸様

テーマ「せきし 街づくりの 今」

/ 担当 職業奉仕委員会

*ロータリーソング「我等の生業」 斉唱

*お客様の紹介 せき・まちづくりNPOぶうめらん

代表理事 北村 隆幸様

*会長あいさつ 波多野好文会長

皆さんこんばんは、今日は先日17

日から19日まで台湾の友好・姉妹

クラブ台北南隆ロータリークラブ

の23周年の式典があり、山田さん、

石原さん、伊佐地司さんと私4名で訪台して、「熱烈

歓迎」を受けてきましたので、報告したいと思います。

まず今の台湾の気候がどうかというと、日本より

数段暑いですが、日本も今年は異常気象で連日30℃

前後の日が続いていますが、とても足元にも及びませ

ん。大変湿度の高い不快な暑さで、最低気温は25℃

以上の熱帯夜、昼間は35℃前後で特に、人が多い夜

市等へ行くと、汗が止まらなく出てきます。去年同



じ時期に22周年に行ったときも暑かったのですが、こんなに暑くはなかった様に思われました。とにかく暑さに慣れない人には、危険な暑さと言えます。しかし、大抵の所は冷房が効いています。特に飛行機の中は寒いくらいでした。聞いてみたら、やはり9月まではこんな気候で暑いそうです。次に当クラブが訪問するのは12月下旬の予定ですので、快適な気温だそうです。多くの方の訪問を期待しています。

1日目の夜は、メンバーの林さんが経営する火鍋屋さんの個室で歓迎をうけました。この林さん、現在ガバナー補佐で火鍋屋さんを台湾以外にも、東京で数店舗経営する大変な人で今回、娘さんも参加されました。その他に現会長の林さん、次期会長の弁護士頼（ベンジャミン）さん、景文高校の理事長の施さん、貿易商を営む張さんと、今回はその従業員の江さんが通訳として参加され、紹興酒で何回も乾杯して楽しい夜を過ごしてきました。われわれは、銘酒「多笑」をおみやげとして2本持って行き、われわれが米から作った酒と言って説明してきました。多分向こうに繋がったと思います。

今回皆様へのおみやげは、高山の烏龍茶の茶葉と

この張さんの会社で作った桜えびの佃煮です。2日目の夜は高級ホテルの地下でメインの23周年の式典があり、われわれの泊まっているホテルへ迎えがきましたので、参加してきました。参加者は、ほとんどが近隣のロータリークラブの方ばかりで、大体200名の参加者だそうです。その中で、私は友好、姉妹ロータリークラブの会長として、林会長の隣で皆さんとは反対向きで座り、非常に緊張しました。

そして、川上さんに作って頂いた23周年の歓迎の挨拶文を読んで来ました、大変緊張しましたが、よく考えると日本語なので、間違えてもほとんどの人がわからないという、安心感もありました。その後高級ホテルのおいしい料理を食べて、親睦を深めてきました。今回参加の皆様どうもご苦労様でした。特に伊佐地司さんは台湾が初めてということで、貴重な経験となったことと思います。又、この台湾への毎年の訪問は、色んな意見がありますが、できれば多くの方に参加して頂きたいです。

*卓 話

せき・まちづくりNPOぶうめらん

代表理事 北村 隆幸様

テーマ「せきし 街づくりの 今」



私は関市で生まれ、大学進学時に県外へ出て、また関市に戻ってきました。そして、2007年にフリーマガジン「ぶうめらん」を立ち上げました。ぶうめらんというのは合併した関市の形がぶうめらんの形であること、また関に戻ってくるよという思いを込めて作っております。

私自身の町づくりの定義は、地域の富を稼いでその利益の循環をつくることだと思っております。そのためには、自分達の地域を数字で把握していくのが大事だと思っております。関市の人口は去年初めて9万人を割りました。これまでの20年というのは高齢化社会といわれながらも、元気な高齢者が増えた時代で、町づくりの担い手が史上最も増えた20年でした。今後の20年は要介護度3以上の方が4人に1人の割合といわれる85歳以上の方が急激に増える20年になります。

関市の地区ごとの犯罪発生件数を警察に問い合わせ調べてみました。内容は、ほとんどが軽犯罪で、窃

盗が多いそうです。関市の倉知地区が一番多く、マージョでの万引きが多いそうです。反対に一番少ないのが上之保地区です。理由はわかりませんが、上之保を歩いた時に、挨拶されることが多いなと思いました。上之保は交通事故も一番少ない地域です。町づくりは行政がやるべきではないと言われることもありますが、職員数が少しずつ減っている行政では難しく、今後は市民で問題を解決していかなければならないのではないかと思います。

若者が住み続けられるまちにしたいと思っており活動しております。平成19年にフリーマガジンを創刊し、今では21000部発行しております。去年から市内の小・中学生に配布してもらえるようになり、中日新聞さんにも折り込んで頂いております。今まで10年ほど活動しており、地域のことが好きになれば地域に戻ってくるだろうという思いで活動しておりましたが、それが疑問になってきており、地域に戻ってくるための問題の構造図を作りました。現在、高校生は約3000人いますが、高校卒業時には約7割の高校生が市外に出ていきます。どれだけの人が戻ってきたかをデータとして把握するのは難しいですが、戻ってきた年齢を聞くと、34歳までに92%の人が戻ってきています。35~60歳までの間に戻ってきた人は、かなり少ないようです。そのことを考えると34歳までがタイムリミットだと考えており、高校卒業、大学卒業、転職そういった時に、地元就職する方法がもっとあるのではないかと考えております。高校生に関の企業を何社知っていますかと質問したところ、10社以下が8割でした。関市には5000社あるといわれていますが、0.2~0.3%しか知られていないことになります。高校生に関の企業を知らせる仕組みが必要ではないかと考え、高校ぶうめらんを3年前に創刊し、地元の企業を知ってもらう取り組みを進めています。関市にどうやったら若者が戻ってくるか考え、今後は採用支援など取り組みたいと思います。

また、社会貢献するような企業を増やしたいと考えております。「日本でいちばん大切にしたい会社」という本をご存知でしょうか。著者の坂本先生を8月2日に招き、講演を計画していますので、お越し

いただければと思います。

***出席委員会**

会員数 31 名、本日の出席 18 名です。

***ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

せき・まちづくりNPOふうめらん、代表理事 北村隆幸様、卓話をよろしくお願ひします。

・藤村伸隆君

せき・まちづくりNPOふうめらん 代表理事 北村隆幸様、本日はよろしくお願ひ致します。

・小澤重忠君

北村さん“ふうめらん”いつも楽しい情報ありがとう。

17 名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第 1941 回 2018 年 6 月 7 日 (木)

卓 話 T-l a b o

代 表 高井 亮輔様

コンサルタント 内藤 良介様

テーマ 「WEBとマーケティングによる
売上げアップ方法論について」

担 当：プログラム委員会